

2014 板橋 City マラソン

3月23日(日)



お天気に恵まれ、約15000人のランナーが荒川河川敷に意気揚々と集合しました。今大会はバルセロナ・アトランタ五輪メダリストの有森裕子さんと、ロンドン五輪メダリストで板橋区スポーツ大使の加藤ゆかさんが応援ゲストで参加されました。ステージでは、ふるさとといったばし体操、有森さんによるストレッチが続き、スタート地点で開会式が行われ、フルマラソン、キッズラン、車いす、ジュニア、5kmの競技が順にスタート。有森さんは精力的に応援し、表彰式後にはトークショーも開催されました。今年は何年にも比べ気温が高く、各支部救護所でのリタイアが多かったようですが、多くの参加者が暑さに負けず、完走されました。



ふるさといたばし体操

ふるさといたばし体操の普及活動を振り返って

田中さゆり委員長



今期は各ブロックに普及委員を出し、2年間で18地区の講習会を行いました。地区委員の協力もあって、参加した方々からも大変喜ばれ、リピーターも増えました。アンケートでは、「広報いたばし」を見られた方が多く、同じ会場で続けてほしいという要望もありましたが、実施はなかなか

困難です。機会があれば地区行事で広めてほしいと思います。また出張講習では車いすの方々に指導しました。今後は座って行える体操や転倒防止になる体操を考えていきたいと思っています。2年間、ご協力ありがとうございました。



気持ち良く伸ばしてリフレッシュ!



NPO 法人志村スポーツクラブ・プリムラ

理事長 浅見宗弘

プリムラの現在の会員数は132名とまだ小規模ですが普段の定期活動4種目の他に青健活動、学校行事、商店街行事への協力やボランティア活動など幅広い活動をしています。また、スポーツを安全に行うために指導者向けの「危機管理講習」や「応急救護講習」なども主催し、プリムラ指導者と一緒に各スポーツの指導者の皆さんにも学んでいただいています。更に今年で9回目になりました卓球教室では毎回一流の指導者を招いて卓球愛好者の皆さんから好評を得ています。

これからも都市型地域スポーツクラブを目指して活動して行きます。



さくら草まつりに協力して



拍手のテンポに合わせて心臓マッサージ



新しい種目にもどんどんチャレンジ!

女子レスリングワールドカップ

3月15・16日



アジノマル浜口さんとワーハッハ!

板橋区立小豆沢体育館において、二日間にわたり女子レスリングワールドカップ(国別団体戦)が行われました。体育館の外にはテレビ局の中継車が何台も停まり、アリーナにはリングや仮設式の観客席が設けられ、1ヶ月前に行われた区民ドッジボール大会などで利用している体育館とは全く違うその変貌に驚きました。吉田沙保里選手のお父さんが、大会を前にして亡くなり、涙ながらに「大会に参加します」とテレビで告げていました。その吉田選手は動きもすばやく、攻めのレスリングでこの試合に勝ち14連覇。決勝戦では、48kg級から75kgまでの階級別に8人が闘い全員勝ち日本が優勝しました。第1ピリオド3分、第2ピリオド3分の6分で勝敗がついてしまう「集中とメンタルの強さが重要なスポーツ!!」と思いました。テレビでおなじみの「気合いだ、気合いだ」を連発する浜口選手のお父さん、お母さんも観客と一緒に応援、またチームの掛け声やテレビカメラも入り、音響効果で会場は大盛り上がりでした。

東京マラソン2014

2月23日(日)



沿道の声援を受けて、目指せゴール!

今年で8回目となる東京マラソンが開催されました。天候はくもりで、朝は気温が4度と冷え込みましたが、ランナーにとっては好条件となり、男女ともアフリカ勢がいずれも大会新で優勝しました。市民ランナーは約36,000人で、思い思いの仮装をしたランナーも多く、車イスと合わせた合計の完走率は96%でした。板橋区のスポーツ推進委員は、水天宮地区で底冷えにもめげず走路員を務めました。全体のコースの一部は、2020年の東京五輪の時も使用されるそうです。警備と救護が強化された大会でもありましたが、無事に大会を駆け抜ける祭典が幕を閉じました。